



2013年9月期～2017年9月期

# 中期経営計画

株式会社夢真ホールディングス  
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.  
JASDAQ 2362

# C O N T E N T S

## 外部環境

P04

---

## 経営戦略

P12

---

## 中期経営計画

P20

---

## 株主還元

P26

---

# 本資料の使い方

## 大前提

経営資源を「建築技術者派遣事業」に集中させます。

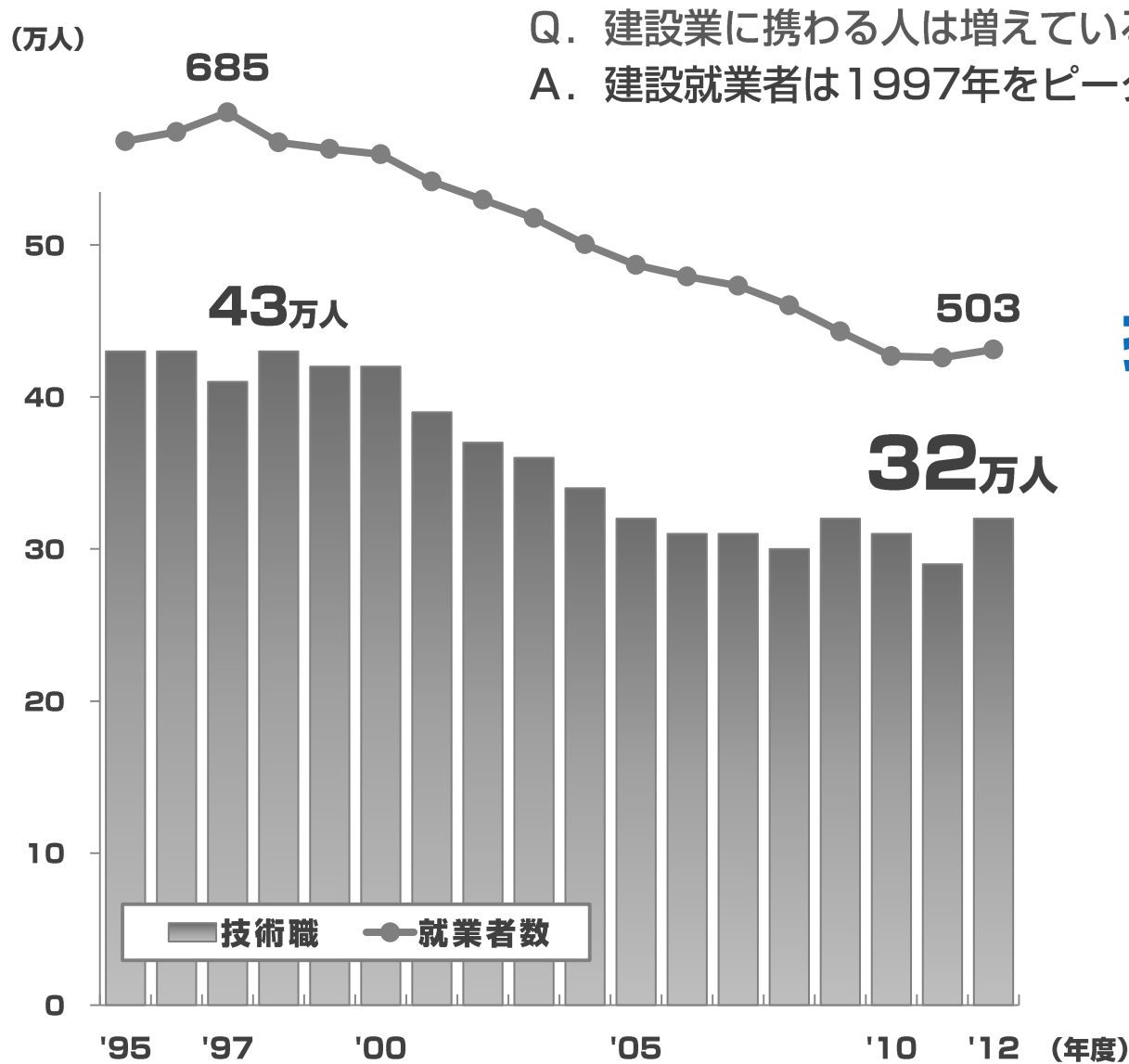
上記理由から、連結および建築技術者派遣事業のみの説明資料となります。

1. まずは中期経営計画策定の骨子となる**外部環境**をよくご理解いただけると幸いです。
2. 建設業界の今を知っていただいたところで、その問題点をいかにして解決していくのか。**経営戦略**をお読みください。
3. 戦略を遂行していった結果、**中期経営計画**はどのような数値になるのかをご確認ください。
4. 最後に、重要な経営課題である**株主還元**政策をお読みください。

中期経営計画の骨子となる最重要項目

# 外部環境

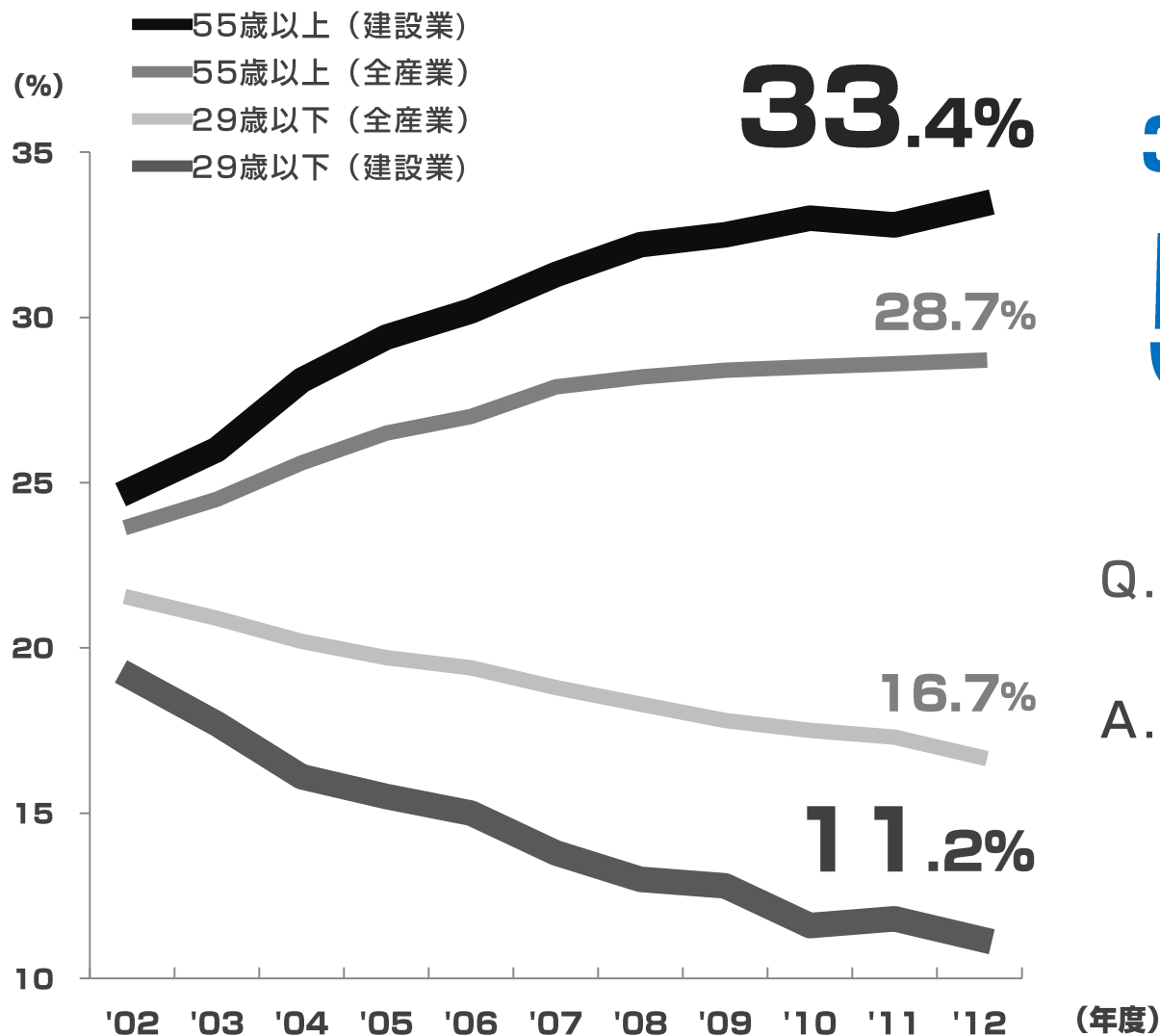
# 建設就業者数



技術職 15年で…

10万人減

# 年齢別就業者割合



3人に1人が...

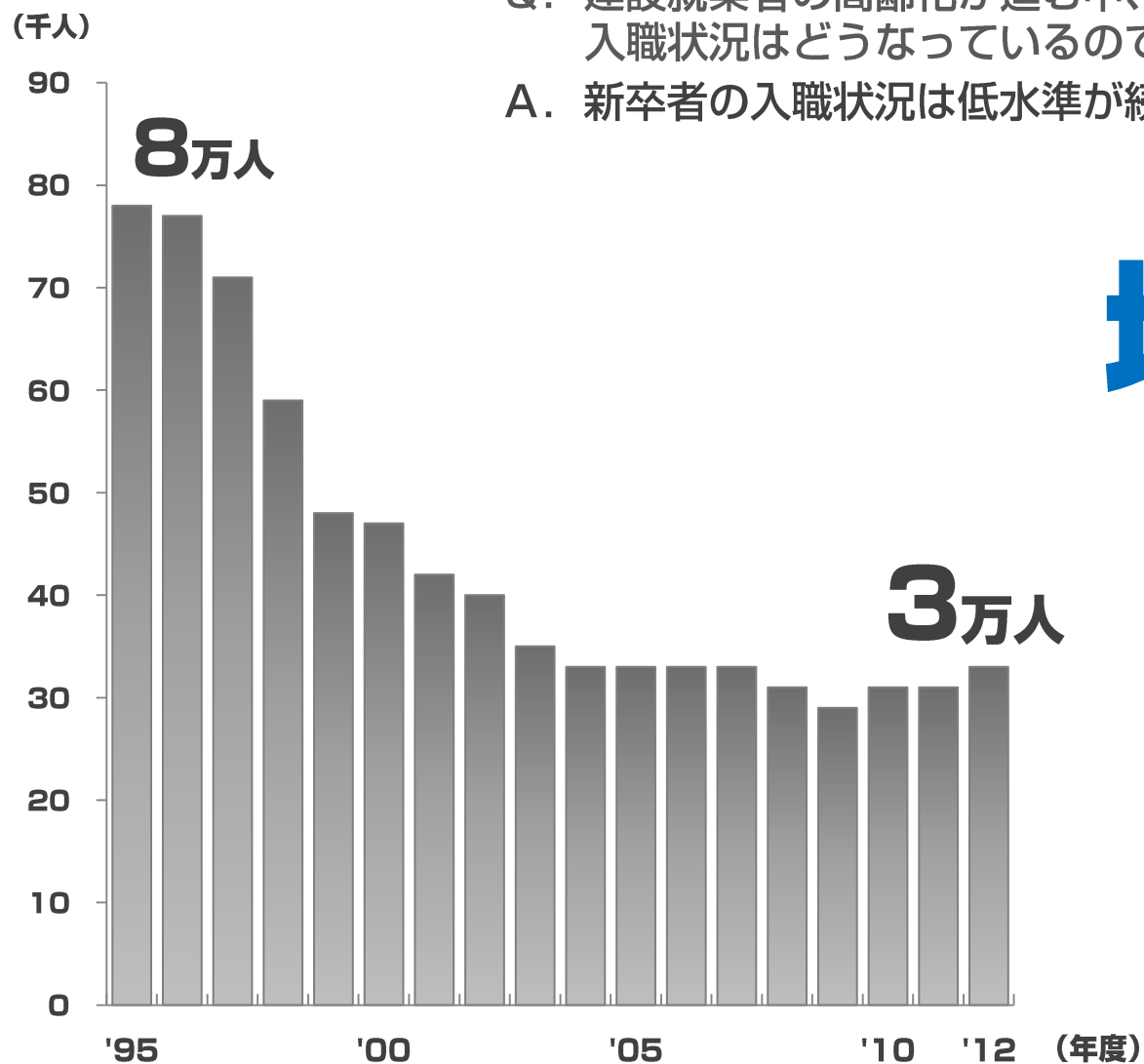
55歳超

- Q. 建設業に携わる人の年齢構成を教えてください。
- A. 他の産業と比較し**高齢化**・**若手不足**が深刻です。

# 新規学卒者 入職状況

Q. 建設就業者の高齢化が進む中、新たな人材の入職状況はどうなっているのでしょうか？

A. 新卒者の入職状況は低水準が続いています。

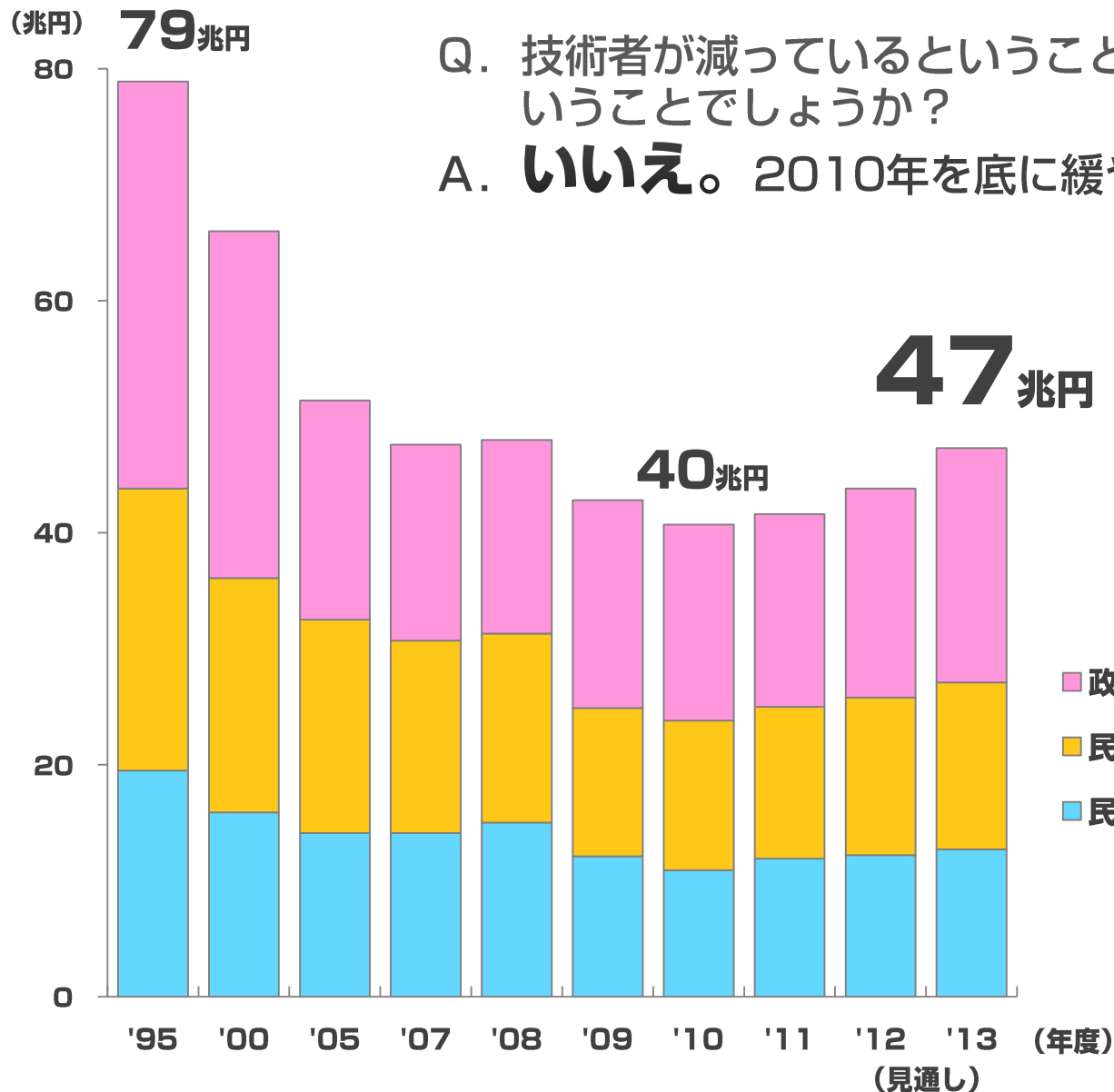


増えない  
入職者

出典：社団法人日本建設業連合会「建設業ハンドブック2012」

※ 高等学校卒業以上を対象

# 建設投資額



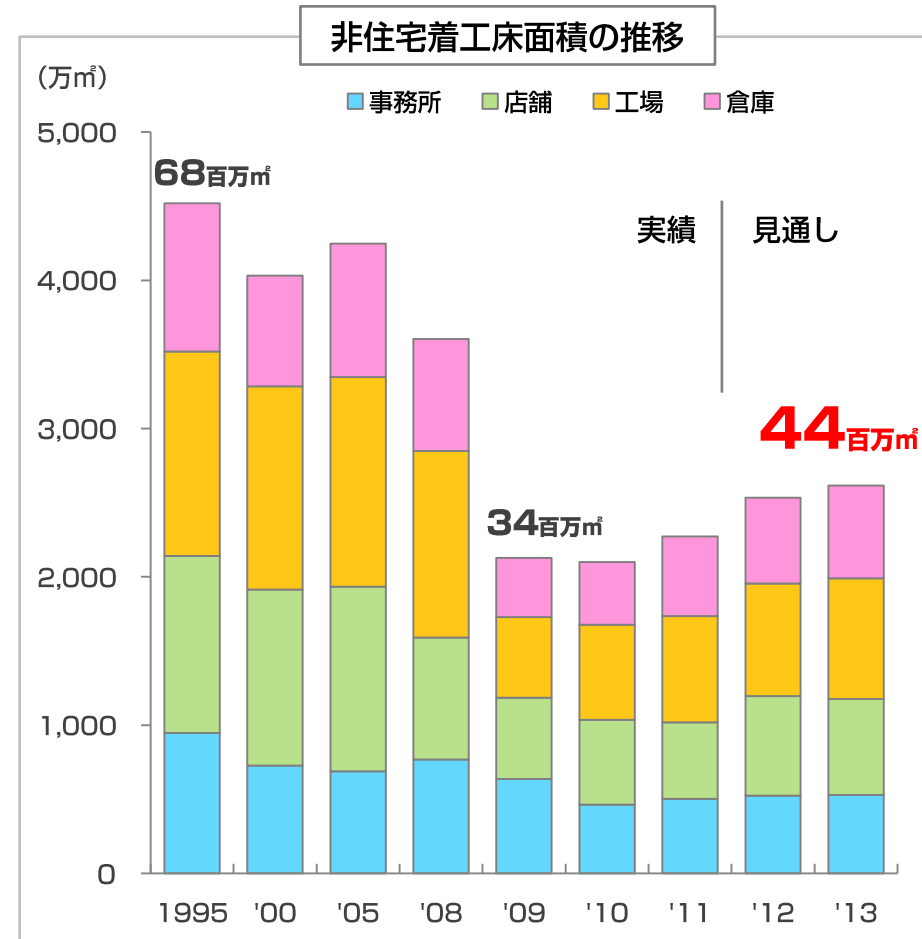
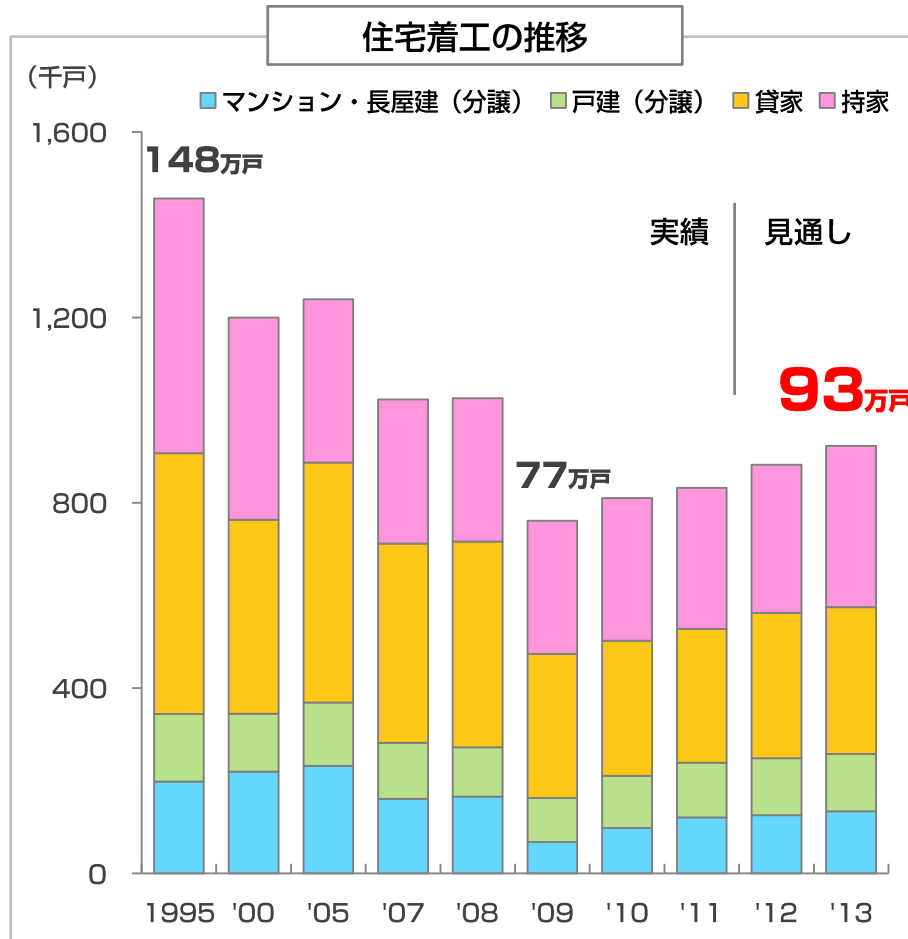
- Q. 技術者が減っているということは仕事量も減っているということでしょうか？
- A. **いいえ**。2010年を底に緩やかな回復を見せています。



# 住宅・非住宅着工数

Q. 具体的にはどのような仕事が増えているのでしょうか？

A. 住宅ではマンション、非住宅では企業の収益改善の影響で、店舗・工場等の設備投資が増加傾向です。



# 外部環境まとめ

**次代を担う人材の採用・育成が急務**

**今後さらに技術者の不足が深刻化**

## 就業者数が減少

15年で約180万人減少  
(技術職は約10万人減少)

## 就業者が高齢化

3人に1人が55歳以上  
今後10年以内に約160万人が  
退職の可能性  
(技術職は約10万人)

## 建設需要の回復

建設投資額が2010年から増加  
住宅着工、非住宅着工ともに  
2009年から増加

外部環境をふまえ夢真ホールディングスは…

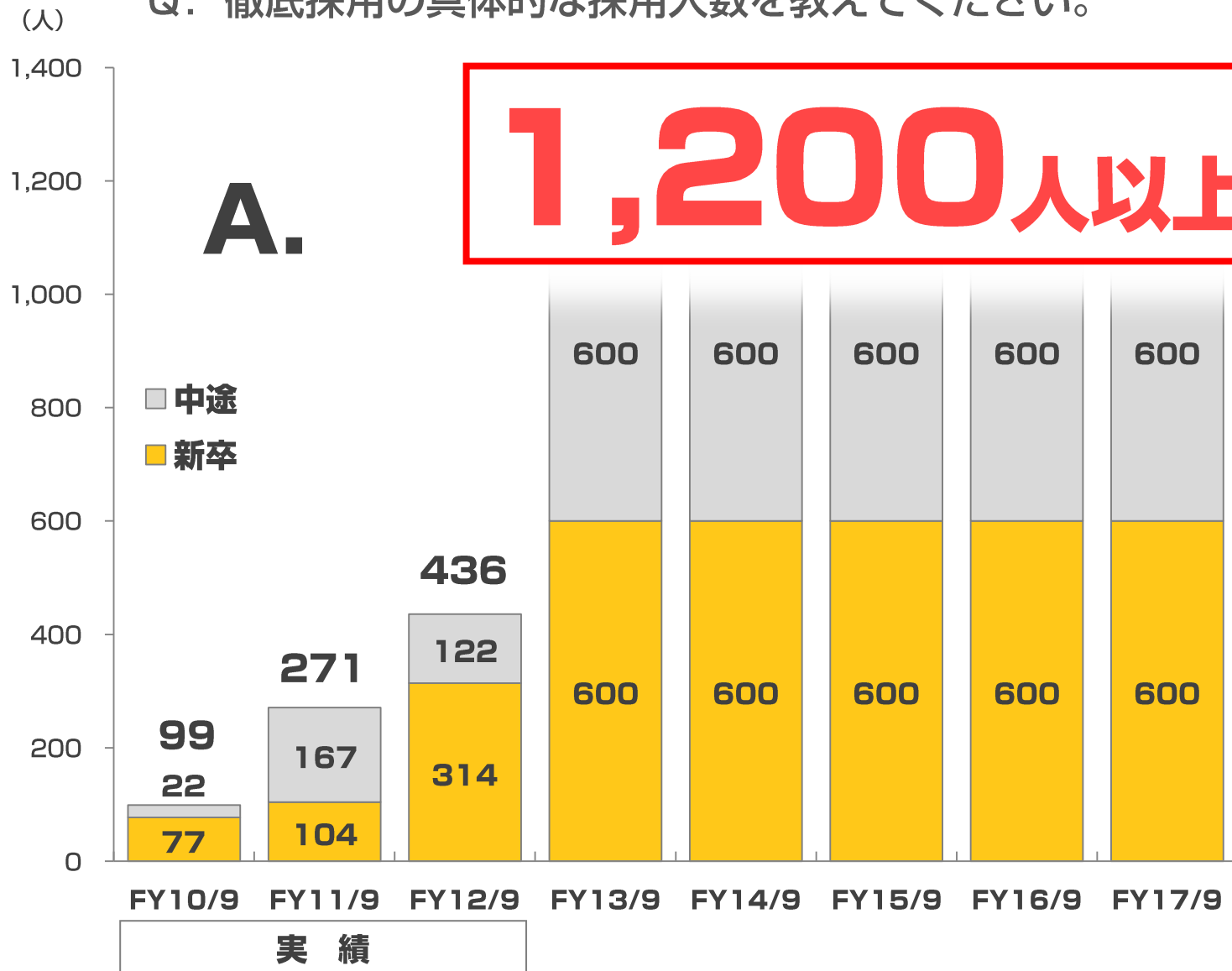
---

**未来の技術者を  
徹底採用していきます**

# 經營戰略

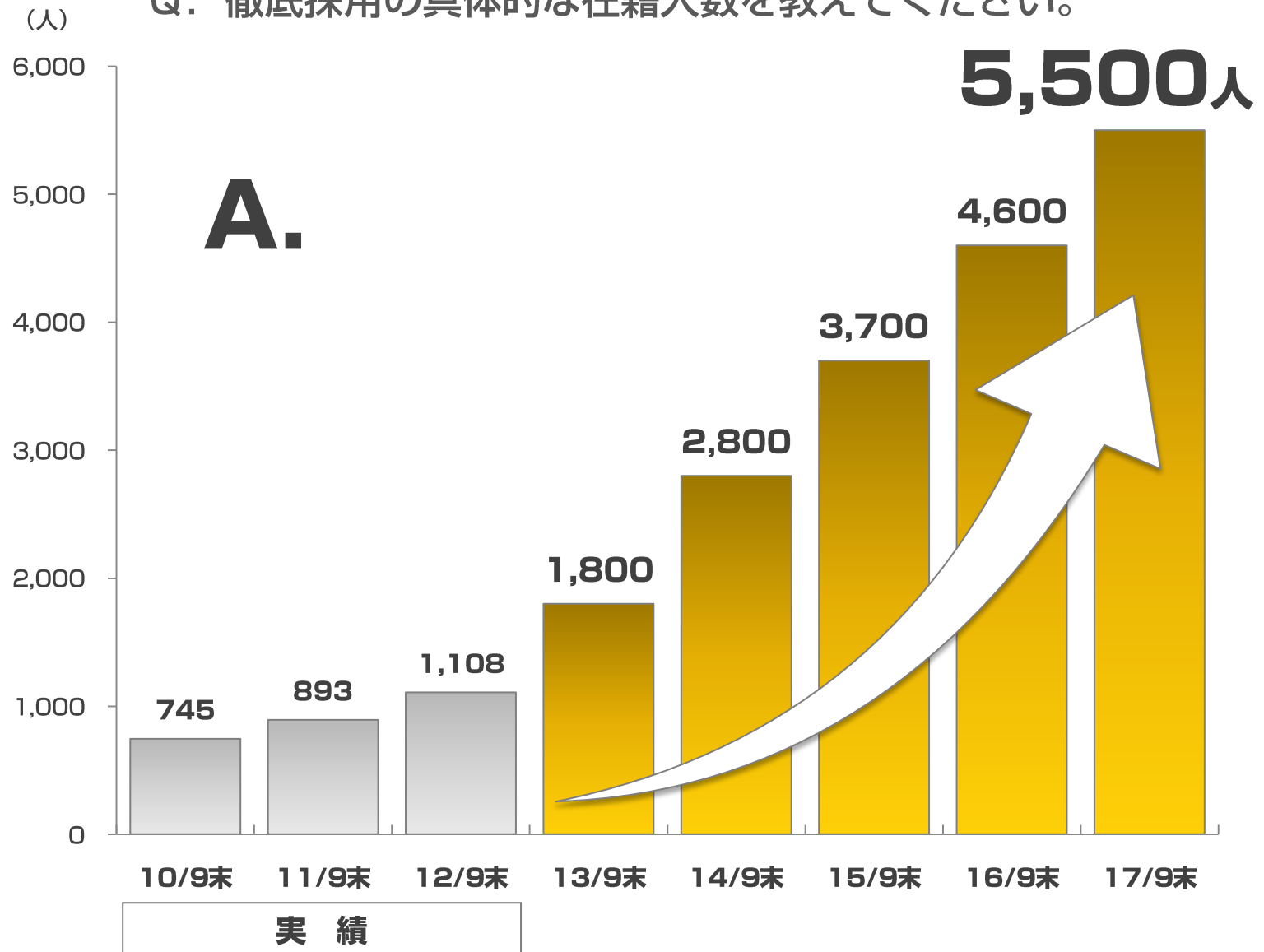
# 技術者採用計画

Q. 徹底採用の具体的な採用人数を教えてください。



# 在籍技術者数

Q. 徹底採用の具体的な在籍人数を教えてください。

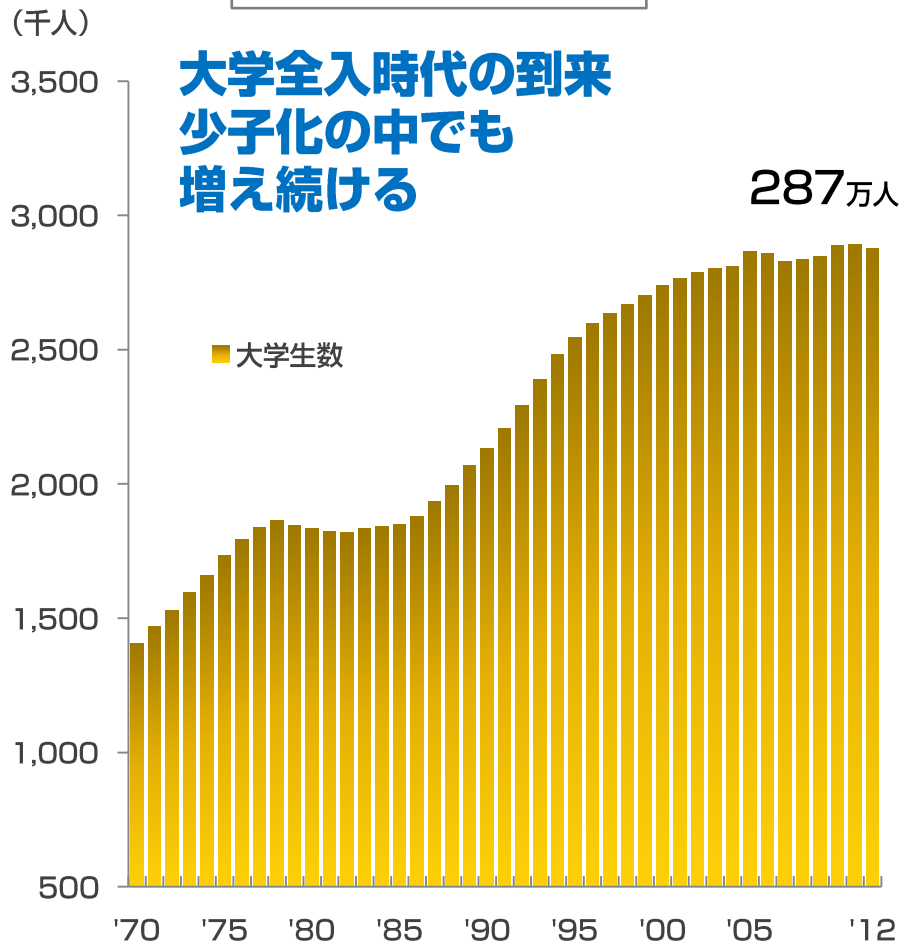


# 採用ターゲット

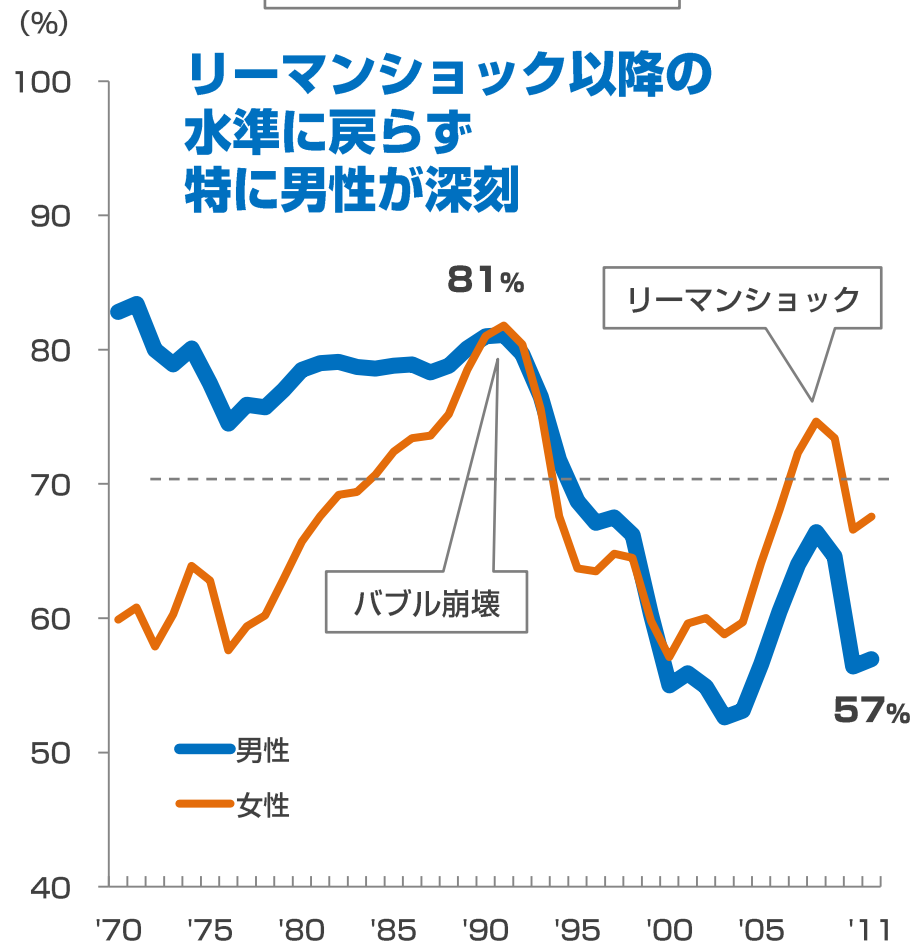
Q. 少子化が進んでいますが、採用に影響するのでしょうか？

A. **いいえ**。大学生は増加、就職率は低下しています。

大学在学者数



大学生の就職率



# 技術者採用戦略

- Q. 徹底採用の具体的な施策を教えてください。
- A. 現在、東京都渋谷区にある採用サテライト「夢探索カフェ」を主要都市に展開いたします。





Q. 「夢探索カフェ」とは何ですか？

A. 採用に特化したカフェスタイルのオフィスで、  
毎日説明会・面接が行われています。



夢探索カフェ 

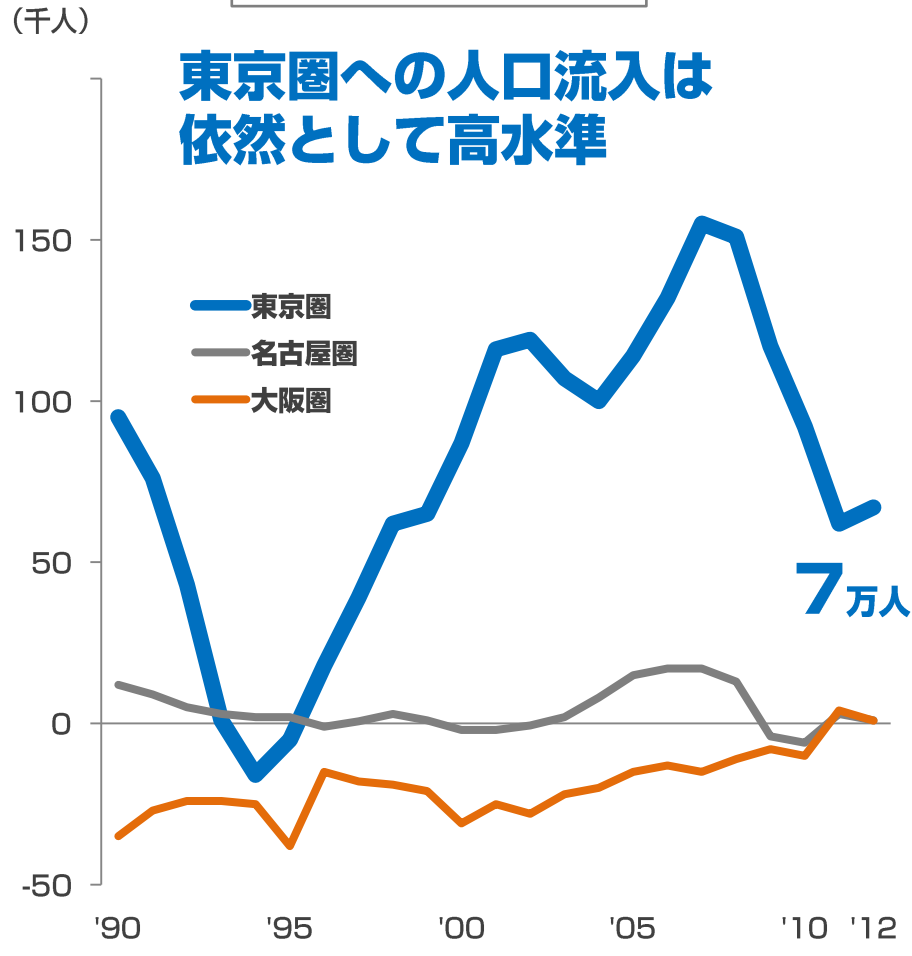


# エリア戦略

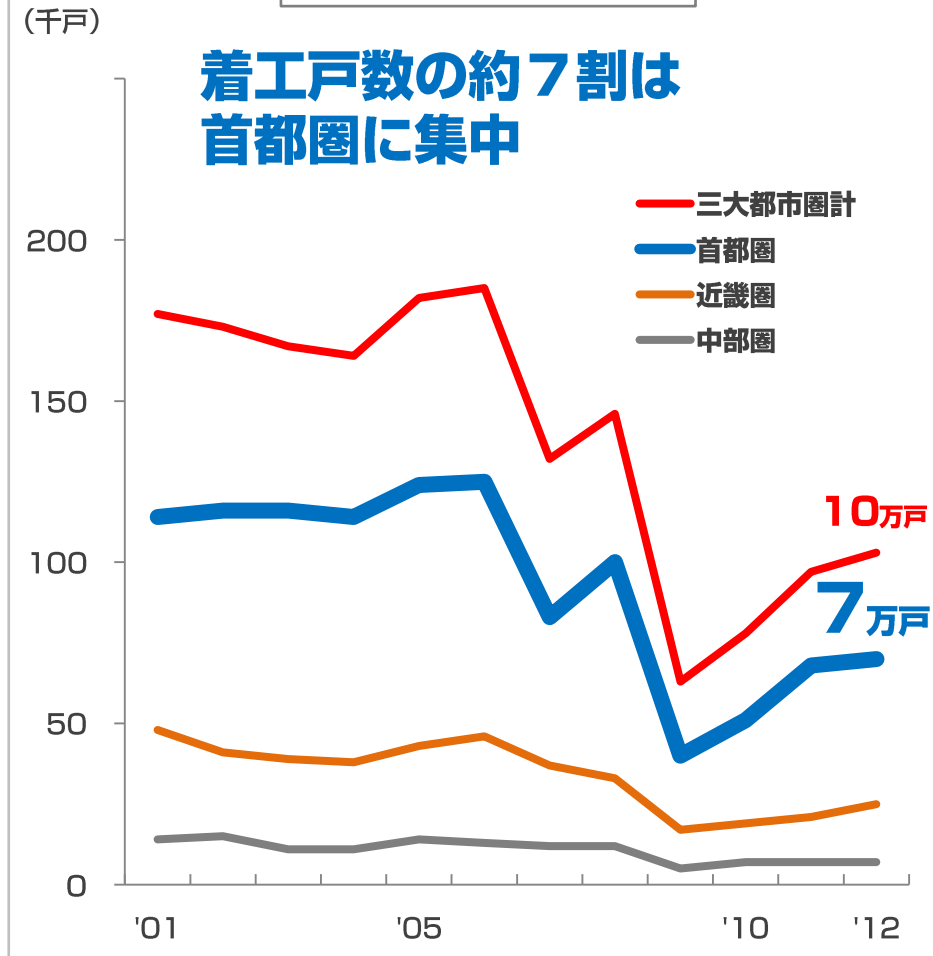
Q. 徹底採用した技術者を全国に派遣するのですか？

A. **いいえ**。首都圏に集中的に派遣いたします。

人口転入超過数



マンション着工戸数



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告年報」  
国土交通省「建築着工統計調査」

# 経営戦略まとめ

経営戦略はシンプルな方程式となります。

## 徹底採用の 人材戦略

- ☑ 毎期採用 新卒600人以上+中途600人以上
- ☑ 「夢探索カフェ」にて毎日徹底採用活動
- ☑ 建築系・理系学生以外にも文系学生を積極採用
- ☑ 研修とOJTを併用したスピード育成
- ☑ 営業部門の成果主義の徹底によるモチベーションの向上

×

=

## 経営戦略

## 首都圏特化の エリア戦略

- ☑ 人口数、着工戸数、派遣単価等の理由から首都圏に集中
- ☑ 高度経済成長期に大量に建てられた建築物の建て替え需要
- ☑ 大型工事の顕在化（JR山手線新駅構想、首都高大規模改修工事、既存ビルの耐震補強, etc.）

# 中期経営計画

# 注 目 ポ イ ン ト

2012年9月期

2017年9月期

1. 5年で4倍増収  
**売上高成長率**

109億円 → 422億円

2. スケールメリットを  
生かしての**経常利益率**

11.8% → 30.6%

3. 他産業と比較して  
**高い資本効率**

5ヶ年継続して  
ROE **40%以上**

# 連 結 損 益 計 画

■ 5年連続2ケタ増収・増益の計画です。

※ 2012年9月期から6年連続

(百万円)

	FY12/9 実績	FY13/9	FY14/9	FY15/9	FY16/9	FY17/9
売上高	10,982	13,500	21,200	28,900	36,100	42,200
経常利益	1,295	2,200	4,850	7,800	10,550	12,900
純利益	738	1,300	2,700	4,300	5,800	7,100
EPS (円)	12.6	22.2	36.2	57.7	77.8	95.2

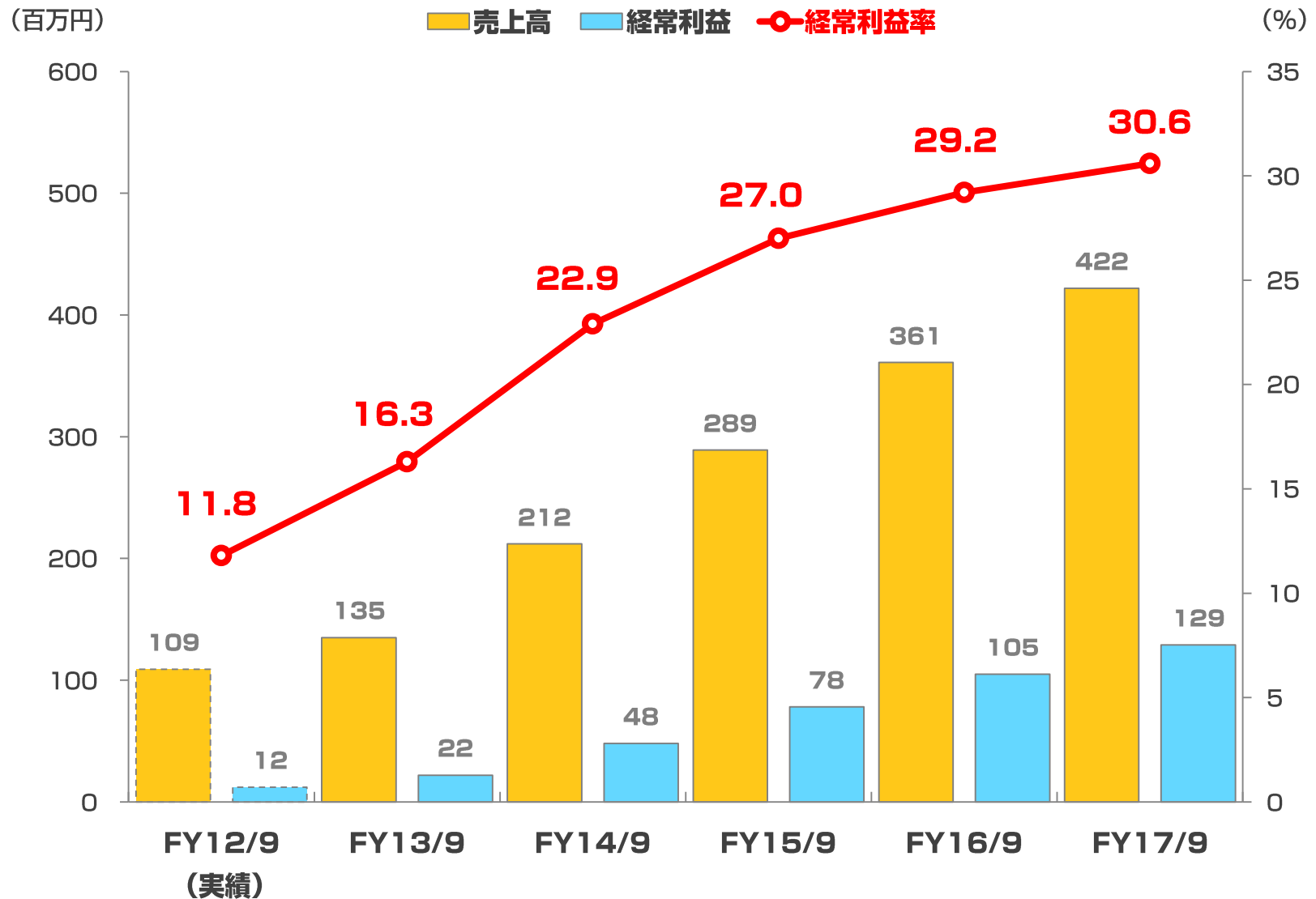
※ EPS (一株当たり純利益)

1. FY12/9=当期純利益÷期中平均株式数×100

2. FY13/9~FY17/9=当期純利益÷発行済株式総数×100

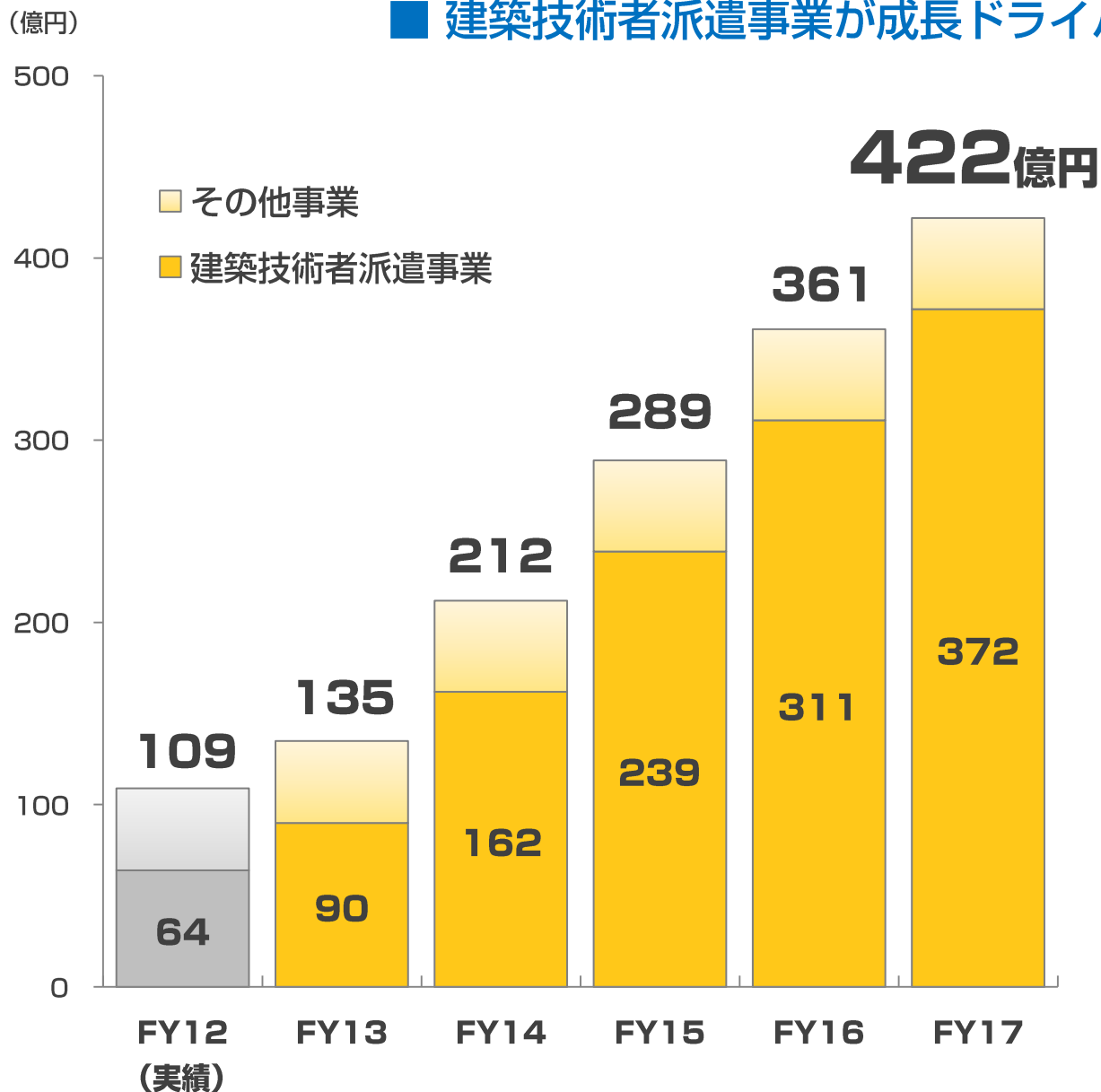
# 連結経常利益率

■ 売上高の増加に管理コストは比例しないため規模のメリットが働きます。



# セグメント別 売上高

■ 建築技術者派遣事業が成長ドライバーです。

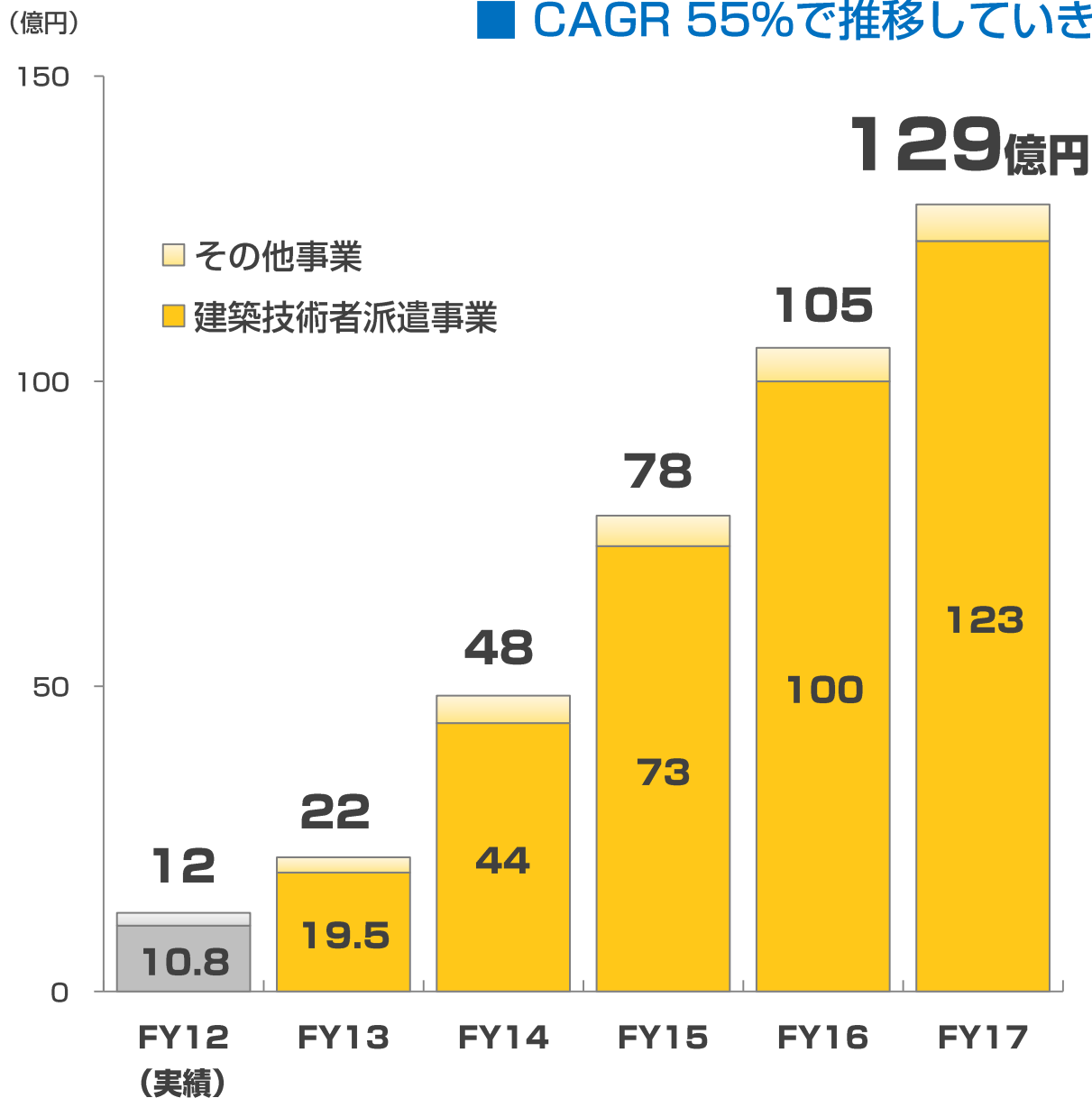


5年後…  
**4倍へ**



# セグメント別 経常利益

■ CAGR 55%で推移していきます。



5年後…

**100億**  
**突破**

# 元 還 主 株

# Q. 株主還元方針は？

A. キャピタルゲイン≧インカムゲイン>内部留保

Income Gain

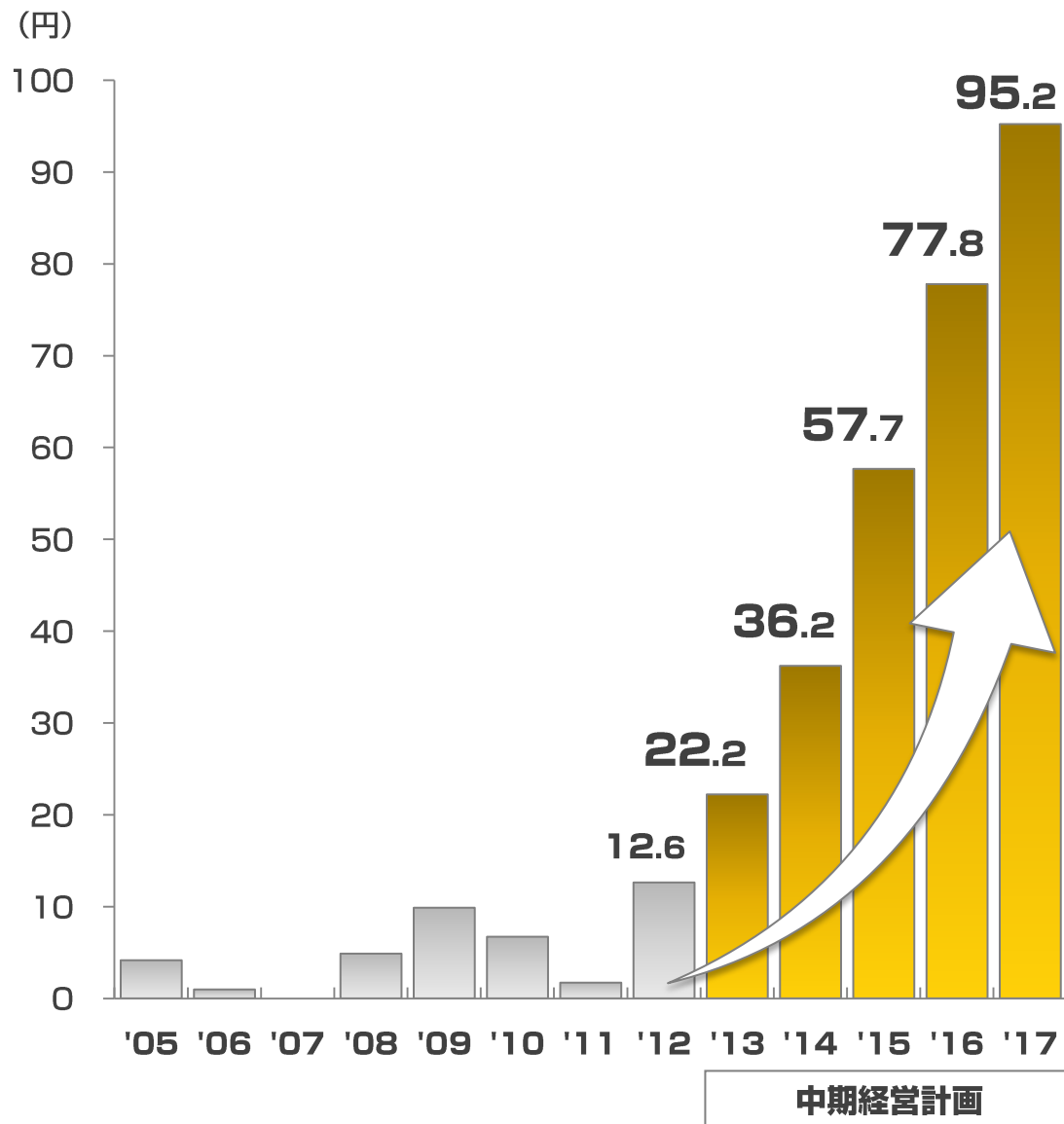
配当  
自己株

Capital Gain

成長  
戦略

内部  
留保

# 一株当たり純利益



每期2ケタ成長

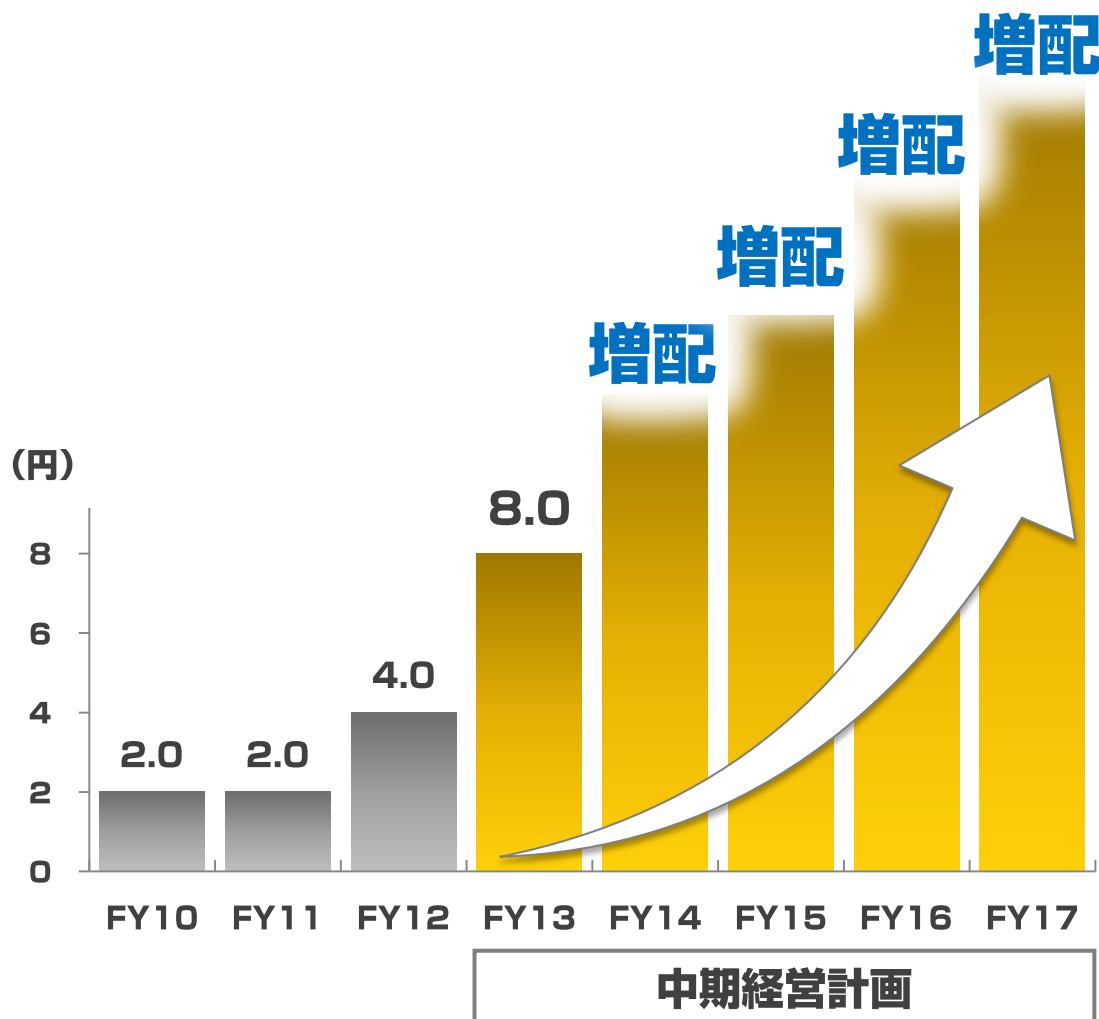
5年後…

7倍へ

※ 1. FY05~FY12=当期純利益÷期中平均株式数×100

2. FY13~FY17=当期純利益÷発行済株式総数×100

# 一株当たり配当金



每期増配を  
コミット

# Question & Answer

- Q. 東北地方の復興需要はいつごろから顕在化するのですか？  
A. 2013年4月以降から本格化するだろうと認識しておりますが、予想は非常に困難な状況です。  
そのため当中期経営計画には**復興需要は含まれておりません。**
- 

- Q. 首都圏や東北地方以外の地域の景況は今後どうですか？  
A. 近畿地方や九州地方の派遣需要がじわじわと増えてきています。2～3年後には一定の規模になることが予想されますが、当中期経営計画には含まれておりません。
- 

- Q. 全国的に橋やダム、道路の老朽化が問題視されていますが、土木系技術者の状況を教えてください。  
A. 在籍している技術者の8～9割は「建築」の仕事に従事しており、「土木」関係は1割程度となっております。  
今後、伸びていく可能性は十分にあると考えています。
- 

- Q. その他の事業（エンジニア派遣、子育て支援、医療介護支援）についての考え方は？  
A. 積極的な投資はしばらくの間行いません。  
代表取締役会長兼社長である佐藤真吾は、  
**「40年以上建築業界を第一線で見えてきたが、こんなに追い風の状況は初めてだ。」**  
と語っています。すべての経営資源を建築技術者派遣に集中させる時だということです。
- 

- Q. M&Aについての考え方を聞かせて下さい。  
A. **素晴らしいビジネスパートナーとの出会いを常に探し求めています。**
-

## 免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予測値であり、実際とは異なる場合がございます。

本資料は将来の結果をお約束するものではありません。本資料にある情報をいかなる目的で利用される場合におきましても、お客様のご判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



**JASDAQ**

<お問い合わせ>

〒112-0012

東京都文京区大塚3-11-6 大塚三丁目ビル

株式会社夢真ホールディングス IR室

TEL : 03-5981-0672 FAX : 03-5981-0711

E-mail : ir@yumeshin.co.jp